

「〈あきぎん〉SDGs経営支援サービス」による 「SDGs宣言」策定（第1号案件）について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、関連会社の株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 石川 聡）を通じて、お取引先のSDGsへの対応度を診断し、具体的な取組みを支援する「〈あきぎん〉SDGs経営支援サービス」（別記参照）をご提供しております。

今般、本サービスを利用し、幸和機械株式会社、株式会社清水企業、菱秋木材株式会社および株式会社伊藤組造園の4社が「SDGs宣言」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、本サービスを利用した「SDGs宣言」策定の第1号案件となります。

SDGsは、企業活動にさまざまな事業機会や課題をもたらすため、事業の目的や目標とSDGsの各ゴールを整合させ、目標の達成に向けて具体的に取組むことが重要となります。

本サービスは、自社のSDGsへの取組状況の把握や分析、今後の取組みを定めることに加え、「SDGs宣言」の公表により、自社の取組方針・目指す姿の社内浸透や対外発信にご活用いただけます。

当行グループは、地域におけるSDGsの達成に向けた取組みを支援し、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

記

【会社概要】

会社名	幸和機械株式会社
所在地	能代市浅内字横道19-1
代表者	代表取締役 福田 幸一
業種	重機・建機販売、土木工事資材販売
企業紹介	昭和46年（1971年）に「能代幸和機械」として創業し、今年度は創業50年の大きな節目を迎えました。土木・建設・林業等の産業機械の販売やリース、整備を通じて「郷土の繁栄に貢献する」の社是のもと、これからも地域社会に貢献できる企業を目指します。
SDGsへの取組み	○ハイブリッドカー・ハイブリッド重機の導入 ○教育・文化・行政等の地域団体への支援 ○地元就職の促進 等

会 社 名	株式会社清水企業
所 在 地	能代市鮫淵字下悪戸 1 1 6 - 3
代 表 者	代表取締役 清水 靖
業 種	建設工事業
企 業 紹 介	軌道工事や土木建築工事等を通じて、地域の暮らしと安全を守ります。従業員の働きがいの向上や地球環境への配慮など、事業活動を通じて時代が求める価値を追求し、地域の発展と未来の安心づくりに貢献します。
SDG s への取組み	○資源の有効利活用によるメンテナンスフリーの実現 ○地域伝統文化や地域イベントへの参画・協賛 ○事業継続計画（BCP）の策定 等

会 社 名	菱秋木材株式会社
所 在 地	能代市字悪戸 6 7 - 1
代 表 者	代表取締役 秋元 秀樹
業 種	集成材製造業
企 業 紹 介	主力の構造用集成材「ちからもち」をはじめとした割れやねじれなどの狂いの少ない集成材を製造しています。「JAS」認定や大手ハウスメーカーから指定材認定を受けるなど「高品質でクレームのない製品」の製造に社員一丸となって取り組んでいます。
SDG s への取組み	○安全衛生マネジメントシステムの推進 ○シニア人材の専門性・技術ノウハウの継承 ○ボランティア活動参加日の休暇付与制度の制定 等

会 社 名	株式会社伊藤組造園
所 在 地	横手市黒川字一本木 4 8 - 1
代 表 者	代表取締役 久米 君雄
業 種	土木・造園工事業
企 業 紹 介	法面工事や河川工事などの土木工事から庭づくりなどの造園工事まで幅広く手がけ、地域の皆さまに自然災害に強く安心して暮らすことのできる生活環境と自然と調和し緑にあふれた豊かな暮らしを提供します。
SDG s への取組み	○従業員への資格取得費用の補助 ○各種休暇を取得しやすい風土づくり ○社内の環境取組みに関する表彰制度の整備 等

(以 上)

SDG s (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。





幸和機械株式会社

SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
郷土の繁栄に貢献する企業として、
新しい時代に求められる持続可能な社会の
実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2021年10月 代表取締役 福田 幸一

SDGsの達成に向けた取り組み

環境を優先した取り組みの「強化」

地球環境に配慮した取り組みを実践します。

具体的な取り組み

ハイブリッドカー・ハイブリッド重機の導入/
省エネ・節電・リユース・リサイクルの推進



地域社会への「貢献」

地域社会へ貢献し続ける思いやりのある企業を目指します。

具体的な取り組み

地域伝統文化や地域イベントへの参画・協賛/職場体験・校外研修の受け入れを実施/教育・文化・行政等の地域団体への支援



リスク管理体制の「構築」

災害、事故等のさまざまなリスクに柔軟に対応できる社内体制の確立に向けて取り組みます。

具体的な取り組み

事業継続計画（BCP）の策定/
緊急時の社内ルールの周知



「人財」の育成

社員ひとりひとりが夢に向かって挑戦し続けることを応援します。

具体的な取り組み

地元就職の促進/資格取得費用の全額補助/
福利厚生充実



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。



株式会社清水企業 SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

「渾然一体」 — 地域と企業の共鳴 —

2021年10月 代表取締役 清水 靖

SDGsの達成に向けた取り組み

可能性

地域の発展につながる計画を“企”てて、“業”を成せる取り組みを行います。

具体的な取り組み

再生可能エネルギーの長期的利活用を追求し、それを活かした研究・開発を実施／地域伝統文化や地域イベントへの参画・協賛／教育現場や公共団体への貢献／職場体験・校外研修の受け入れを実施



幸福実現

従業員の技術力の向上や資格取得奨励による働きがいを求め続けます。

具体的な取り組み

資格取得費用の全額補助／資格手当付与制度の整備／地元人材・シニア人材の雇用拡大



地球環境

“地球が職場です”

未来を見据えた環境意識の向上

具体的な取り組み

資源の有効利活用によるメンテナンスフリーの実現／ハイブリッドカー・ハイブリッド重機の導入／廃棄物の管理体制強化／省エネ・節電・リユース・リサイクルの推進



使命感

災害・事故・事業リスクの未然防止

具体的な取り組み

労働災害の防止／OJTや社内訓練・研修の実施／事業継続計画（BCP）の策定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは
Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。



菱秋木材株式会社

SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

当社は、創業以来、「お客様との相互理解に基づいた信頼関係」を大切にしながら「クレームの無い商品づくり」を念頭に取組んできております。

これまで培ってきた製造業者としての強い信念のもと、「地域の縁の下のちからもち」になるべく、社員一丸となって未来に向けて歩んでまいります。

2021年10月 代表取締役 秋元 秀樹

SDGsの達成に向けた取り組み

安全衛生

労働災害の防止や、社員の健康維持のために、社員一人一人へ安全・健康に関する様々な機会を提供することに努めます。

具体的な取り組み

安全衛生マネジメントシステムの推進
(リスク評価、目標設定、対策実施など)



省エネ・節電

CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。

具体的な取り組み

照明のこまめな消灯や待機電力の節約／LED化の推進



シニア人材の活用

地域の高齢者が生き生きと暮らせるように、高齢者が定年を超えても継続して働ける機会を創出します。

具体的な取り組み

高齢者の再雇用制度を就業規則にて制定／シニア人材の専門性・技術ノウハウの継承



従業員のボランティア活動の促進

より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動参加をサポートします。

具体的な取り組み

活動日の休暇付与制度の制定／勤務時間内での参加の許可



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。



株式会社伊藤組造園 SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

道徳：社会生活を営むうえで、ひとりひとりが守るべき行為の規準（の総称）。自分の良心によって、善を行い、悪を行わないこと。モラル（moral）

倫理：人倫の道。社会生活で人の守るべき道理。人が行動する際、規範となるもの。エシックス（ethics）
倫理は特定の集団や職業における善悪の判断基準を指すのに対して、道徳は社会全体の善悪の判断を指す。また、倫理は客観性を重視するのに対し、道徳は個人の内的な自発性を重視する。

- ・あたりまえを、いつまでも。
- ・真面目な仕事を、社会のなかに。（地域のなかに。）
- ・変わる社会に、変わらない思いを。

2021年10月 代表取締役 久米 君雄

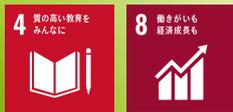
SDGsの達成に向けた取り組み

働きがい

社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

具体的な取組み

資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備／社員のキャリア面談の実施



ワークライフバランス

社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

具体的な取組み

産前・産後休業・育児休業制度の整備／各種休暇を取得しやすい風土づくり



環境問題の認識・理解の推進

環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。

具体的な取組み

従業員に対する、ポスター掲示やパンフレット配布等による普及・啓発／社内の環境取り組みに関する表彰制度の整備



ESG/SDGsの取組みの表明

会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。

具体的な取組み

行政のSDGs登録制度への参画／SDGs推進施策・目標の設定、モニタリングの実施



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

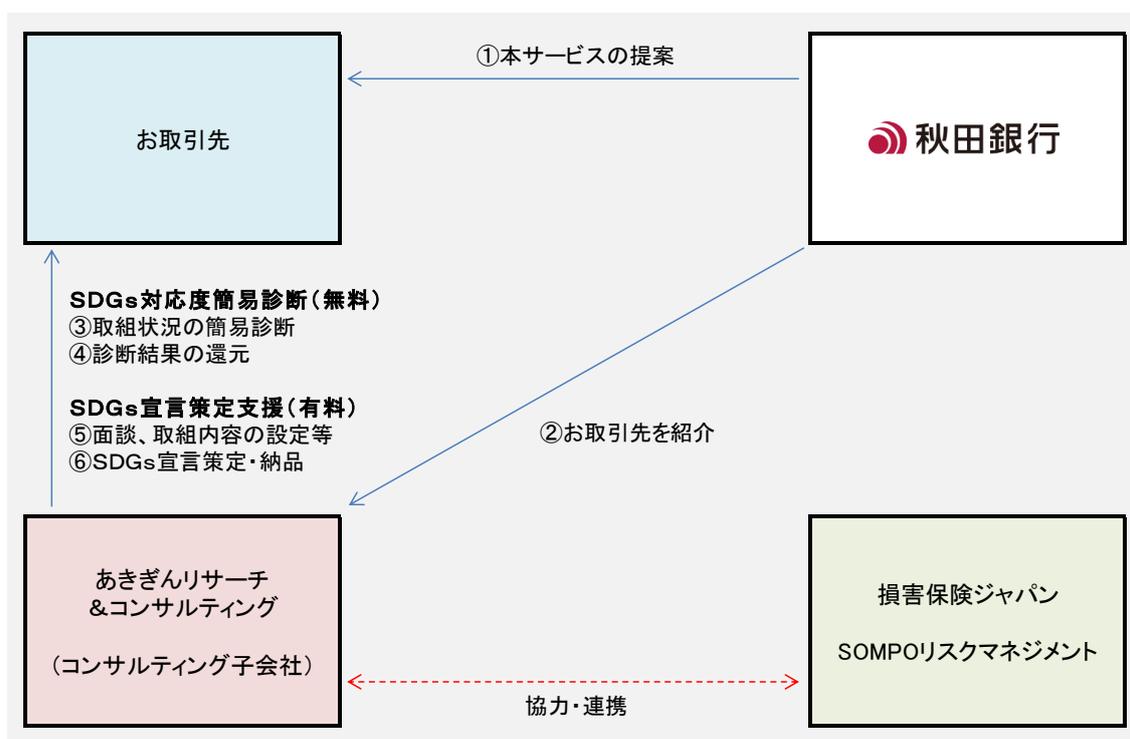
SDGsとは
Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

(別 記)

1 サービスの概要

名 称	〈あきぎん〉SDGs経営支援サービス	
対象となる方	県内で事業を営む法人のお客さま	
取 扱 店	県内営業店	
支 援 内 容	「SDGs対応度簡易診断」 アンケート形式のチェックシートを活用して事業者さまのSDGsへの取組状況を簡易診断し、結果をレポートとして還元します。	「SDGs宣言策定支援」 簡易診断の結果を踏まえ、取組方針や目指す姿などについて協議を行い、独自の「SDGs宣言」の策定を支援します。
手 数 料	無 料	有 料
取 扱 開 始 日	2021年6月30日	

2 サービスのスキーム（イメージ図）



(注) 本サービスは、当行グループによる地元企業のSDGsへの取組支援に賛同いただいた損害保険ジャパン株式会社およびSOMPOリスクマネジメント株式会社に協力をいただいております。

(以 上)